

たこ天 2026



集まった 60 人で 3 日間のたこ天村を作ろう

自分と人と向き合う心の村

「た」くましい、「こ」ども心を、遊ばせる（「天」国）村

年に 1 度の夏のたこ天村へご招待します。

【日程】 2026 年 8 月 8 日（土）～10 日（月）

2 泊 3 日の合宿プログラム 8 日 10:00 集合、10 日 18:00 解散予定

【会場】 大学セミナーハウス

（〒192-0372 東京都八王子市下柚木 1987-1 ホームページ：<https://iush.jp>）

【アクセス】 「野猿峠」バス停より徒歩 5 分

JR 八王子駅・京王線北野駅・京王南大沢駅より路線バス利用

※ 会場に無料の駐車場あります（事前申込制）

【主催】 ^{バス}PAS心理教育研究所

（〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9 Tel: 03-6407-8201）

「たこ天」ウェブサイト：

今年も「たこ天村新聞」やります。



PAS の「note」

たこ天物語あります。



「たこ天」へようこそ！

集まった60人で3日間の「たこ天村」を作ろう。人で作る心の村だ。

3日間、その村の中で、スマホやPCはカバンにしまって、人と人が顔突き合わせて関わりあって時間を過ごそう。グループで語り合おう。皆で体を動かし、遊び、一緒に飯を食べよう。夜には大人は酒を酌み交わそう。



色々な活動をする中で色々な自分が出てくるだろう。いつもより元気な自分。普段は奥にしまっている「たくましい子ども心」。自分でも気づいていない一面。古い記憶に閉まっている一面。自分の中の子どもも大人も最大限活性化させよう！



たこ天で得られるもの

- ・心と身体の元気 ・人中の安全感 ・遊ぶこと、楽しむこと、生み出すこと
- ・普段の自分の枠を越えた自分の世界への冒険・探検・挑戦
- ・一日一緒に共に働く仲間 ・誰かに、何かに、ドキドキする気持ち
- ・成功して大喜び、できなくて悔し涙、etc. 感情の活性化 ・夢と希望

たこ天村 村長よりメッセージ

(ba)l:A/M

真珠湾をどうこう言えないことをおっ始めた。しかも小学校を襲った。核弾頭を早急に増やすという国も出た。何も言わず、世界に新しいリーダーシップを大見え切りながら、またもや強気を挫く狭客にはなり得ず、自国民の安全しか言わないこの国のトップも仕方がないのか。基底に世界はバラバラになるという想定があるという式が(ba)l:A/Mだ。ロンドンでホッパーさんから初めて聞いた時、本当かいとつぶやいた寒海だが、東日本、熊本の震災で人間はこうなるのかと、真剣に考えさせられた。集団は、大集団は、世界は、結局はバラバラになる？それでもそこに希望があると、寒海はホッパーに議論を持ちかけた。一緒に本を出す予定だったのに、彼は先に逝ってしまった。バラバラになるから、個人は強くなる。ホモ・サピエンス人類は、集団になり大集団になることによって、ネアンデルターシスを凌ぎ、さらに大組織になることによって文明を築いた。そうして文明に頼って、集団、組織、に頼って裏切られ、今や個人は家畜化に向かい、世界がバラバラになりつつある。ホッパーさんの基底的想定式(ba)l:A/M通りになっている。

たこ天村は、毎年バラバラの個が集まり、小さな集団、大きな集団がまとも互いの心を交わすほどに親密な味を生み出す。そうしてまたバラバラに別れていく。世界もバラバラになった所から、個々の国の底力で、破壊を超えるまともを生み出せることを期待しつつ、我らは今年も新しい村を作ろう。やって来い、帰って来い。世界がバラバラの中、人の集まりが凝集する熱の中で自分を逞しくする、新しい自分を見つける村にやってこいや。

2026, 2, 28 のその日 村長 寒海幻蔵

スタッフ：PAS 心理教育研究所 セラピスト

小谷 英文 能 幸夫 髭 香代子 中村 有希 花井 俊紀 橋本 麻耶 太田 佐歩
山下 由紀子 芝 理紗子 右山 裕一 溝口 侑平 湊 彩夏

たこ天村での3日間・・・活動紹介

◇ 全員で村作り

たこ天村の村づくりを、空間作りからみんなで行います。机を動かしてスペースを作ったり、村の広場を作り飾りつけもしたり、掲示物を作ったり、椅子を並べたり、と皆で居心地の良い村を作っていきます。



◇ 開村式

準備ができれば、開村式です。今年のたこ天をスタートさせましょう。

◇ 大グループの時間

たこ天村 60人全員が集まって、60分全員で話をします。その時その場で心に浮かんだこと、言いたくなったこと、他の村人に伝えたいことを率直に言葉にすることに取り組みます。目立ちたくなったり、隠れたくなったり、話そうとしてドキドキしたり、普段の生活の中の集団より大きい集団の中でいろんな自分を体験しよう。

◇ インタレストグループの時間

自分の興味関心（インタレスト）で活動をする時間です。サッカーやバスケットをしたり、皆で絵を描いたり、ギターを弾きながら皆で歌ったり、将棋を指したり、やりたいことをやりましょう。大人数だからできること、いつもは一人でやってるけど仲間とやりたいこと、自分の得意を教えたいといったこともできます。これもグループです。



◇ **小グループの時間** ※P5～7 参照

事前に選んだ、それぞれテーマが異なる6つのグループに分かれて、心の専門家であるセラピストと共に、自由に自分を語り、相手の語りに耳を傾けることを通して、自分の心と付き合うことに取り組みます。小グループは、それぞれの拠点となるグループになります。

◇ **コミュニティの時間**

各グループの間の時間、朝や夜の時間はたこ天村のコミュニティの時間になります。たこ天村には老若男女、様々な人がいます。様々なバックグラウンド、仕事、歴史を持った人と関わり合い、語り合う中で、自分の世界が広がります。

◇ **閉村式&片付け**

始まりがあれば終わりもある。しっかり終わって、村を閉じて心に残そう。

たこ天 2026 小グループ紹介

素人のための集団精神分析療法

セラピスト：小谷 英文 アシスタント：湊 彩夏 対象：17歳以上 募集：10名

自分のことが一番分らない。それでトップアスリートは苦しむ。企業のトップも、創造的仕事に挑むアーティストも研究者も然り。熟達が最も難しい精神分析療法家です。でも自分の主体が何たるかは分からず、迷い、苦しみもする。何かか、主体は自分には見えないからだ。主体は対象に現れる。だから精神分析はセラピストという対象を得て、主体に迫る。だがそれでは不足がある。人前で精神分析を受ける、する。素人の君もやってみようか。

”今を感じ、今に生きる”多世代グループⅡ

セラピスト：能 幸夫 対象：17歳以上の男女 募集：7名

“All I ever am”そのまま訳せば、『これまでの自分の存在の全て』とでもなるでしょうか。私たちは、これまでの体験、経験の中にある全ての記憶をもった存在として生きています。そして、このこれまでの自分の全ての存在は、刻一刻と流れる今のこの瞬間にも影響を受け、修正され、新たな自分の積み重ねを続けています。そんな自分の全てを十分に活かしているでしょうか。今とこれからを、使っていないあるいは眠っているこれまでの自分の存在の全てを活かしながら、自分らしく十分に生きてみる。そんな自分を仲間と一緒に追求していきましょう。

大人の色気：自分の運命を引き受けられますか

セラピスト：中村 有希 アシスタント Th：山下由紀子 対象：40歳以上の男女 募集：8名

フランスでは、男女ともに年齢を重ねるほどに魅力が増す、という。人生の半ばを超え、自分が得てきたもの、失ったものが多くある。自分ではどうしようもないという状況下でも、私たちは、自分で何かを選択し、生き抜いてきた。運命を悲観できても、その時々自分自身が選んだ人生に、正直に向き合うことは、なかなか難しい。年齢を重ねるといことは、求めを諦めることではなく、自分の未知なる求めのあくなき探究に漕ぎ出すことができるということではないか。そこに大人の色気があるというかどうか。

女のミチ（未知／道）を切り拓くグループ

セラピスト：橋本 麻耶 アシスタント Th：芝理沙子 対象：15歳以上の女性 募集：7名

“女には女のふるさとがあるという～中島みゆき『旅人のうた』より”

女には女の生き方がある 女には女の誇りがある 女には女の正義がある 女には女の悔しさ、痛みがある 女には女の逞しさがある 女には女の厳しさと優しさがある 女には女の色がある 女には女の悪どさがある 女には女のある愛がある 女には女の喜びがある 女には女の宇宙がある

女同士の中でこそ味わえる自分がある あなたにはあなたの何があるのか 女同士で切り拓く探求の旅へ出かけよう

YMG (Young Men's Group)

セラピスト：髭 香代子 **アシスタント Th**：右山裕一 **対象**：20代・30代の男性 **募集**：7名

どんな男になりたいか。どう男でありたいか。男としてここだけは譲れない。男ならこれくらいはできないと。

そんな話を正面切って男同士でしたことはあるか？ 遠慮なく現実をつきつけあい、恥ずかしくても理想を掲げあい、お互いの男っぷりを正當に評価しあい、どこまでも競い合う。

そういう男同士の真剣話、全力のぶつかりあいを女の前でしてみるのはどうか？ よりいい男でいようと背伸びしたっていい。かっこいい男はかっこつけるところからだって始められる。

思う存分男でいよう。一番いい男になるう。自分の男をもっと磨いてやろう。

大人の満足追究グループ：己の核へ

セラピスト：花井 俊紀 **対象**：30歳以上の男女 **募集**：7名

自分の根っこ話をしよう。自分の軸と話をしよう。自分が真に何を追い求めているか、自分の核の声を聞こう。核はいつでも大事なものを求め続けている。どんな叫びが聞こえるだろうか。マグマは吹き上がるか。集まった8人で腹から話をしよう。互いに相手を見据えて、相手の核に迫ろう。その時、自分の核にも近づく。社交も、説明も、腹の探り合いもいらない。腹から声を出してみよう。

自分の可能性をひらく大学生のグループ

セラピスト：太田 佐歩 **コ・セラピスト**：溝口侑平 **対象**：大学生(年齢不問) **募集**：7名

夏だ！夏休みだ！時間のある学生の夏休みに、心の旅に出かけるのはどうだろう。自分の知っている自分の世界は、案外せまいもの。できないと決めつけていることの中に、本当はできることがある！「この前はうまくいかなかった」と諦めてしまったことも、やれることが絶対にある！使っていない能力を、資源を、あなたはまだまだ持っているはずだ。

このグループでは、大学生で集まって、「いつもの自分」をはみ出すことに取り組みよう。「もっとできる」と思ってみよう。いつもの自分が言わないことも、このグループでは思い切って言ってみよう。自分の可能性に期待する、夏だ！

参加について

【参加費：宿泊費+研修費 全て税込】

	宿泊費	研修費	合計
適応問題集中教室	22,000 円	60,000 円	82,000 円
その他のグループ	22,000 円	50,000 円	72,000 円

- ※ 宿泊費には、1 日目の昼食から計 7 食分の食事料金が含まれています。
- ※ 3 日間、全プログラムに参加するお約束で申込を受理します。
- ※ 当研究所にて継続して面接を受けている方は、研修費が 2 割引となります。
(個人セラピィ (隔週～毎週)・個人 SV (隔週～毎週)・心理相談講座生)
- ※ 分割払いも承ります。ご相談ください。

【参加申込方法】

申込用紙に必要事項をご記入の上、当研究所まで直接お持ちいただくか、メール・FAX・郵送でお送りください。

申込締切：2026 年 7 月 12 日 (日)

送り先：〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9 PAS 心理教育研究所

電話・FAX：03-6407-8201 メール：pas@pas-ins.com

お問い合わせ：花井 (たこ天村企画課長)

- ※ 申込は先着順となります。定員を超えた場合、希望する小グループや、たこ天に参加いただけない場合がございますのでご了承ください。
- ※ 参加者全員に事前のオリエンテーション (約 30 分) を行います。直前は混みますので、お早めにお申し込みください。
- ※ たこ天村を最大限に活かすために、スケジュールやグループ編成など、内容に変更が生じる場合がございます。ご了承ください。
- ※ ご不明な点などございましたらお気軽にお問い合わせください。